

## Lesson27

可能的表達方式

- ① N +が できます
- ② 辞書形 + こと が できます。L18
- ③ 可能動詞

- ① N +が できます

例)

→王さんは英語ができます。

→私は水泳ができます。

→私はピアノができます。

- ②辞書形 +こと が できます。L18

例)

→王さんは英語を話すことができます。(書く、聞く、読む)

→私は泳ぐことができます。

→私はピアノを弾くことができます。

- ③可能動詞

例)

→王さんは英語が話せる。(書ける、聞ける、読める)

→私は泳げる。

→私はピアノが弾ける。

※ 可能動詞之規則

I グループ → 辞書形 語尾的「う」段音 → 「え」段音 + る

例) 買う → 買える

書く → 書ける

急ぐ → 急げる

貸す → 貸せる

立つ → 立てる

死ぬ → 死ねる

読む → 読める

遊ぶ → 遊べる

II グループ → 辞書形 去語尾的「る」 → + 「 られる 」

起きる → 起きられる

見る → 見られる

教える → 教えられる

忘れる → 忘れられる

寝る → 寝られる

### Ⅲ グループ

- ① 来(く)る → 来(こ)られる  
② す る → 出来(でき)る

※可能動詞的句子不是表示動作、而是表示狀態 他動詞的受詞用助詞「を」表示 但是在可能動詞的句中、対象用「が」表示

例)

- 私は日本語を話します。(他動詞)  
→私は日本語が話せます。(可能動詞)  
を→が

※ 「を」以外の助詞不変

例)

- 1人で病院へ行けます。  
→田中さんに会えませんでした。

※ 可能動詞的意思 可能動詞和「辞書形+ことが できます」的句形一樣。可能動詞有兩個意思。

- ① 個人所具有的能力

例)

- 日本語が話せます。

- ② 某種狀況中行為的可能性

例)

- 香港(ホンコン)で世界のいろいろな料理が食べられます。

※ 表示対比的「は」

例)

- きょうは行きますが、あしたは行きません。  
→田中さんは行きますが、私は行きません。

お酒を飲みます。たばこを吸いません。

- お酒は飲みますが、たばこは吸いません。

ひらがなが書けます。かたかなが書けません。

- ひらがなは書きますが、かたかなは書けません。

「は」用於把名詞提示為主題時、「は」將代替「が」「を」

→「は」不能與「を」、「が」同時使用。

「を」、「が」以外的助詞、在其後＋「は」

助詞的同時使用

※ 「では」「には」「へは」「からは」「までは」

例)

→新宿へは行きますが、銀座へは行きません。

→銀行ではお金が換えられますが、受付では換えられません。

→テレビはロビーにはありますが、部屋にはありません。

※ 沒有明確表示加以對比的東西

例)

→私はコンピューターは使えません。。。 (會使用～、但不會使用電腦)

※ ～ しか、～ ません。 僅 (有) ～ 只 (是) ～

「しか」後面還帶有否定的形式、表示除此之外沒有相應的東西限定意思。

例)

→ローマ字しか書けません。

※ 「しか」與「だけ」

「だけ」與「しか」一樣有限定範圍加以提示的意思

但「だけ」之後不管是對事物抱持「肯定」或「否定」的想法都可以使用。

→ローマ字しか書けません。(心理有只有如此的狀態並不充分的意)

→ローマ字だけ書けます。

→當要加以強調數量少時、用「～しか、～否定」的句形而不用「だけ」

例)

→20メートルしか泳げません。

→国で3週間しか日本語を勉強しませんでした。

※自動詞的 a. 「見えます」、「聞こえます」與

他動詞的可能動詞 b. 「見られます」、「聞けます」

a.

見えます → 自動詞 與意志無關。表示某種對象物被捕捉進視野或  
聞こえます 聲音伝到耳裏

※ 「見えます」、「聞こえます」其對象物

成為主語、用助詞「が」表示。

例)

→ ここから私のうち **が** 見えます。 天気がい  
い時、新幹線から富士山が見えます。

→ ラジオの音<sup>おと</sup>が聞こえます。 小鳥（ことり）  
の鳴き声<sup>こゑ</sup> **が** 聞こえます。

b. 他動詞的可能動詞「見られます」、「聞けます」

他動詞

可能動詞

→ 可實現想「看」or「聽」的意志

見る → 見られます = 見ることができます。

聞く → 聞けます = 聞くことができます。

→ 表示主体「看」的意志、「聽」的意志能得到實現

他動詞的可能動詞（見られる、聞ける）

例)

→ この映画は新宿で見られます。

→ 電話で天気予報<sup>おほう</sup>が聞けます。

※ 疑問詞 + でも + 肯定形 → a. 全面肯定 vs.

疑問詞 + も + 否定形 → b. 全面否定

a.

だれ、 どこ 、いつ + で も + 可能表現

なん、 どれ

→ どこ でも 行けます。

疑問詞 + でも + 肯定形 → 全面肯定

例)

→何でも いいです。

→困ったことがあったら、いつでも 手紙を 書いて ください。

いつでも 電話で 連絡して ください。

→1人で、どこでも 行けます。

→日本料理は 何でも 食べられます。

b.

「なに も ありません」

疑問詞+も+否定形 → 全面否定